

国際ヘンプ博覧会「JIHE（ジャイヘ）2026 Japan International Hemp Expo」、2026年11月13日（金）・14日（土）に東京・表参道「House of OMOTESANDO」で開催決定

日本最大級のCBD・ヘンプの総合展示会&カンファレンスが、新会場・表参道の一棟空間へ。BUSINESS DAY／COMMUNITY DAYの2日制。

2026年6月23日 ・ Asabis株式会社／一般社団法人 GREEN ZONE JAPAN



Asabis株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中澤亮太）と一般社団法人GREEN ZONE JAPAN（代表理事：正高佑志）は、2026年11月13日（金）・14日（土）の2日間、東京・表参道「House of OMOTESANDO」にて、CBDを含むヘンプ産業の国際的な総合展示会&カンファレンス「JIHE（ジャイヘ）2026 Japan International Hemp Expo／国際ヘンプ博覧会」を開催することを発表いたします。あわせて、入場無料の事前来場登録（日本語＝Peatix／英語＝Luma）を受付中です。

JIHE 2026 テーマ

「Break the Bias, Back to ORIGIN.」（偏見の向こうに、原点がある。）

新しいカンナビノイドやトレンドを追いつけてきたこの数年。JIHE 2026は、その先にある“原点”へと視点を戻します。衣・食・住から日々の道具まで、日本が二千年、暮らしのなかで使い続けてきた伝統から、医療・CBD・ウェルネス・サステナビリティ（GX）という現代・未来の可能性まで——多様に枝分かれした産業も、たどればすべて「麻（ヘンプ）」という一本の植物に戻ります。世界の多くの国では、麻は近代に産業化され、やがて禁じられ、暮らしの記憶から切り離されました。けれど日本では、麻は二千年のあいだ途切れることなく、ふだんの衣食住のなかに生き続けてきた——この“暮らしとの連続性”こそ、世界のなかで日本がもつユニークさです。

麻の葉模様、注連縄、夏に着る麻のシャツ、七味——麻は気づかぬうちに、すでに私たちの暮らしのなかにあります。JIHE 2026が掲げるのは「THE OLDEST FUTURE=いちばん古いものが、いちばん新しい」というメッセージ。植物そのものではなく、言葉やイメージにまわりついた先入観を、説得ではなく一人ひとりの“気づき”でほどこいていく2日間を目指します。

法改正から2年目。制度に基づく市場形成が本格化

2024年12月の改正法施行を経て、日本のCBD・ヘンプ産業は「制度に基づく市場」としての歩みを本格化させています。安全性・品質への要請が高まる一方、繊維・建材・食品・ウェルネスなどヘンプ由来の素材・製品はサステナビリティ（GX）の観点からも国内外で注目を集めています。

JIHEは、2021年から続く「CBDジャーニー」「カナコン（CannaCon）」を前身とし、累計来場者7,000名以上・累計参画企業300社以上の実績を持つ、CBD・ヘンプ領域の国際プラットフォームです。2年目を迎えるJIHE 2026は、事業者間のビジネスマッチングと、一般の方々への正しい知識・体験の提供を両輪に、業界の健全な発展に貢献します。

JIHE 2026 の進化ポイント

① 新会場は表参道。建物一棟をまるごと使った没入体験型エキスポ

今年の会場は、東京・表参道の「House of OMOTESANDO」。多くの人と文化が行き交う表参道の一棟空間を舞台に、麻の“原点”を問い直します。

地下1階の展示ホール（Sky Hall）、1階の商談ラウンジ&バー、2階のカンファレンスホール&キッチン、屋上の交流スペースまで、建物一棟をフロアごとに異なる体験で構成。表参道という発信力のある立地で、出展企業・来場者の交流密度を高めます。

② BUSINESS DAY／COMMUNITY DAYの2日制

11月13日（金）BUSINESS DAYは、事業者・バイヤー・メディア向けに展示・商談・カンファレンスを中心としたビジネスの1日。11月14日（土）COMMUNITY DAYは、一般来場も含めてご関心をお持ちのあらゆる方を歓迎し、物販・体験・コミュニティ交流を中心とした、CBD・ヘンプを五感で感じられる1日です。

③ カンファレンス「CannaCon（カナコン）」— 海外セッションも展開

医療・科学、規制・政策、産業・サステナビリティ、海外マーケットなど、業界の最前線を発信するカンファレンス「CannaCon」を2階ホールで開催。プログラムの一部として海外登壇者によるセッションも実施し、AI通訳ツールを活用して言語の壁を越えた知見共有を実現します。登壇者・プログラムは7月以降、公式サイト・SNS（#jihe2026）で順次発表します。

④ 懇親会・交流プログラム

初日夜には、出展者・来場者・登壇者が垣根なく交流できる懇親会を予定（有料・定員制。詳細は後日発表）。

出展企業・協賛パートナーを募集しています

JIHE 2026では、出展企業・協賛パートナー、コミュニティ／メディアパートナーを募集しています。CBD・カンナビノイドの製造・原料、ブランド・小売、ヘンプ食品・素材・建材、検査・分析・認証のほか、物流・包装・土業・マーケティング・PRなどの周辺サービス、海外企業（英語対応・USD建てプランあり）まで、CBD・ヘンプのバリューチェーン全体からのご参画を歓迎します。

11月13日（金）BUSINESS DAYは事業者・バイヤー・メディアとの商談の場を、11月14日（土）COMMUNITY DAYは一般来場者を含めた本領域に興味のあるあらゆる方々との直接の接点を提供します。表参道「House of OMOTESANDO」という発信力のある立地で、貴社の製品・ブランドを国内外に届ける機会です。

出展・協賛の詳細やご案内資料（Web版・日英）、早期申込特典については、公式サイトのお問い合わせフォーム（jihe.asabis.co.jp）よりご連絡ください。

開催概要

イベント名	JIHE（ジャイヘ）2026 Japan International Hemp Expo／国際ヘンプ博覧会
開催日	2026年11月13日（金）BUSINESS DAY／11月14日（土）COMMUNITY DAY 開場 11:00～18:00（予定）
会場	House of OMOTESANDO（東京都渋谷区神宮前5-34-8・表参道）
入場料	無料（事前来場登録制）※懇親会など一部有料コンテンツあり
来場事前登録	日本語： jihe2026.peatix.com / 英語： luma.com/hpztknzq
主催 / 共催 / 後援	主催 Asabis株式会社 / 共催 一般社団法人 GREEN ZONE JAPAN / 後援 AIHF（Asia International Hemp Federation）
公式サイト	jihe.asabis.co.jp （英語： /en ）
公式ハッシュタグ	#jihe2026

ヘンプ・CBDについて

ヘンプは、繊維・建材・食品・化粧品など幅広い用途を持つ産業用の大麻草です。成長が早く環境負荷が低い素材として、世界的にサステナビリティ（GX）の文脈で注目されています。

CBD（カンナビジオール） は、ヘンプ等に含まれる成分のひとつで、世界的に市場が拡大しています。日本国内では、法令に適合した製品が流通しています。

主催・共催について

Asabis株式会社

CBD／カンナビノイド領域に特化したメディア・コミュニティ・プラットフォームの運営を行う。「CBDジャーニー」「JIHE」を主催。

所在地：東京都渋谷区神宮前6-23-4 桑野ビル2F / 設立：2021年8月2日 / 代表取締役社長：中澤亮太

一般社団法人 GREEN ZONE JAPAN

医療大麻に関する教育・啓発・研究支援を行う一般社団法人。医療／産業大麻を専門としたカンファレンス「CannaCon（カナコン）」を主催してきた。

所在地：〒355-0322 埼玉県比企郡小川町東小川5-26-24 / 設立：2017年7月3日 / 代表理事：正高佑志 / greenzonejapan.com

▼ 報道関係者向け素材：ファクトシート（日英） / メディアキット（キービジュアル・写真） / [English press release](#)

数値・固有名は確定事実です。開場18:00は予定。本リリースは効能・医療効果に関する表現を含みません。本リリースは2026年6月23日時点の情報です。開催時間・後援団体・登壇者など、その後に確定・変更された項目があります。最新情報は公式サイト（<https://jihe.asabis.co.jp/ja>）をご覧ください。

本リリースに関するお問い合わせ

Asabis株式会社 JIHE 2026 運営事務局／広報 高野雅治（Masaharu Takano）

E-mail：info@asabis.co.jp